

**製品名: PIAS 3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16120**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	68kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PIAS3
別名	PIAS3; E3 SUMO-protein ligase PIAS3; Protein inhibitor of activated STAT protein 3
遺伝子 ID	10401.0
SwissProt ID	Q9Y6X2
免疫原	抗血清はヒト PIAS3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

**背景**

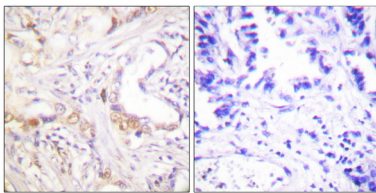
この遺伝子は、転写調節因子の PIAS [活性化 STAT (シグナル伝達および転写活性化因子) タンパク質阻害剤]ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は、SUMO (小型ユビキチン様修飾因子) -E3 リガーゼとして機能し、SUMO タンパク質を特定

の標的基質に共有結合させるのを触媒します。いくつかの転写因子に直接結合し、それらの活性を阻害または増強します。この遺伝子の選択的スプライシング転写バリエーションが同定されていますが、これらのバリエーションの全長は決定されていません。[RefSeq 提供、2008年7月], domain:LXXLLモチーフは転写コレギュレーターの特徴です。function:E3型小型ユビキチン様修飾因子 (SUMO) リガーゼとして機能し、UBE2I と基質との相互作用を安定化させ、SUMO 係留因子としても機能します。STAT 経路やステロイドホルモンシグナル伝達経路など、様々な細胞経路において転写の共調節として重要な役割を果たします。この転写の共調節、トランス活性化、またはサイレンシングの効果は、生物学的状況によって異なります。誘導: 前立腺癌細胞におけるジドロテストステロンによる。経路: タンパク質修飾、タンパク質の SUMO 化。PTM: SUMO 化。類似性: PIAS ファミリーに属します。類似性: 1つの SAP ドメインを含みます。類似性: 1つの SP-RING 型ジンクフィンガーを含みます。サブユニット: SUMO1 および UBE2I に結合します。IL6、CNTF、または OSM 処理後は AR、GFI1、HMGA2、IRF1、MITF、NCOA2、および STAT3 と相互作用し、PRL 刺激後は STAT5 と相互作用します (類似性による)。PLAG1 と相互作用する。組織特異性: 広く発現する。、

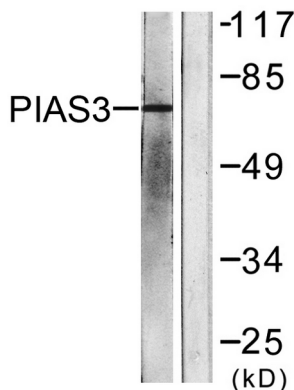
## 研究分野

ユビキチンを介したタンパク質分解、Jak\_STAT、がんにおける経路、小細胞肺がん、

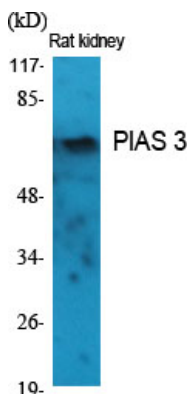
## 画像データ



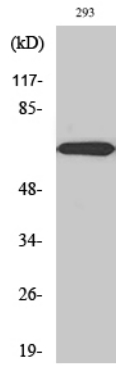
PIAS3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



PIAS3 抗体を用いた、UV 5'処理した 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 に希釈した PIAS 3 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。



1: 2000 に希釈した PIAS 3 ポリクローナル抗体を使用した 293 細胞のウエスタンブロット分析。